

# ライブサーバー 取り扱い説明書

(2006/09/01 改訂)

## 目次

1 仕様 .....	1
2 外形・寸法図 .....	2
3 接続図 .....	4
4 設定内容の確認 .....	8
5 設定 .....	9
6 機能 .....	11
7 機種による違い .....	12
8 お問い合わせ先 .....	14

# 1 仕様

## 【電源】

- ・電源端子 : DC + 5V 付属の電源(ACアダプター)より供給
- ・A C 電圧入力 : AC90 ~ 264V 50/60Hz
- ・消費電力 : 最大 10W

## 【映像/音声の入力レベル】

映像信号の入出力端子は、NTSC 規格の信号レベルです。

信号レベルと信号のインピーダンスについては、以下のとおりです。

映像入力レベル : 1.0 Vp-p/ インピーダンス 75 (NTSC)

映像出力レベル : 1.0 Vp-p/ インピーダンス 75 (NTSC)

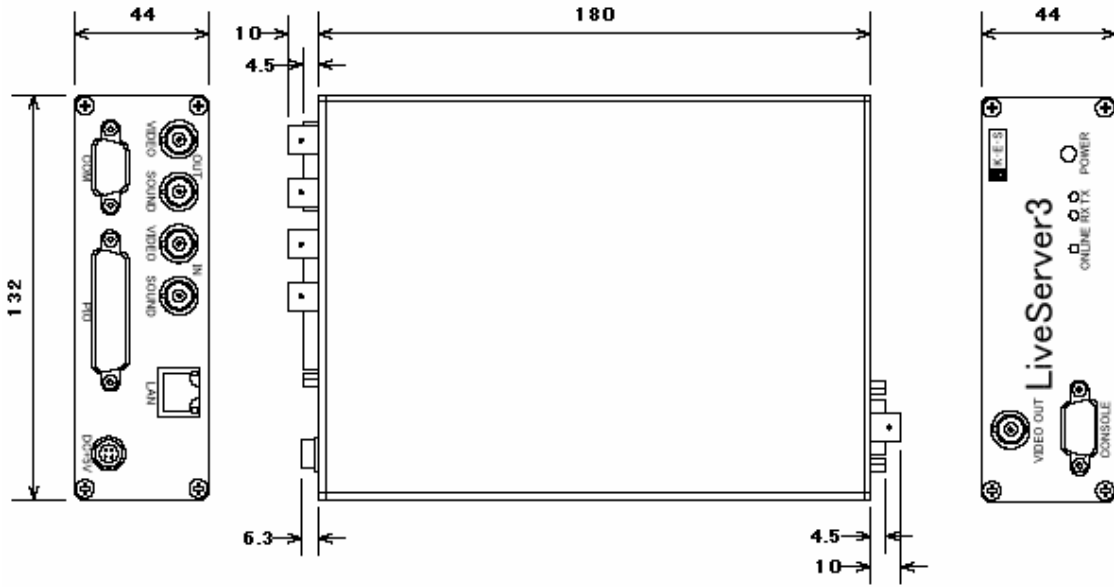
音声入出力のレベル(PEAK)は、0dBm = 0.775Vrms になります。

## 【動作環境】

- ・動作温度 : -10 ° ~ 50

## 2 外形・寸法図

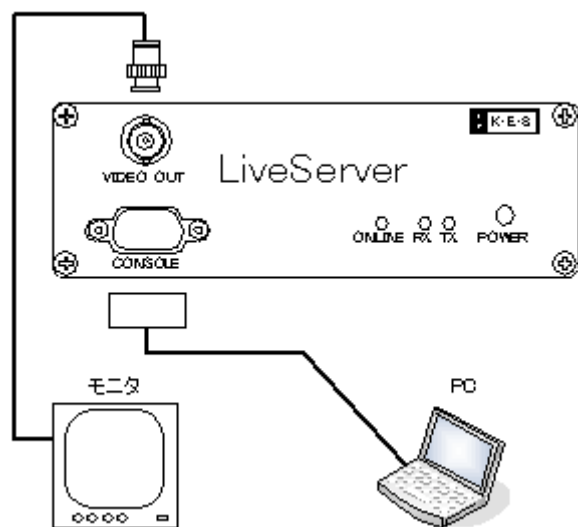
【外形寸法図】



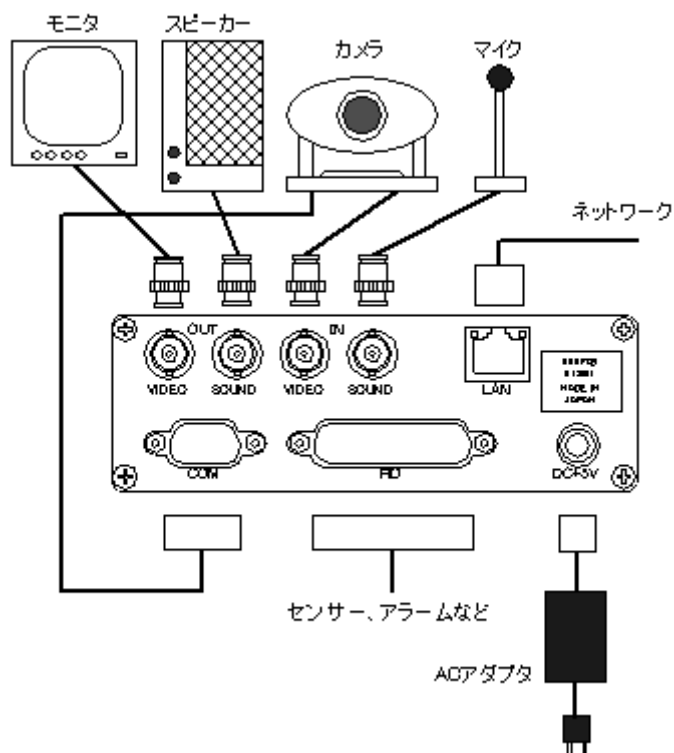


### 3 接続図

【表パネル】



【裏パネル】



#### 【LAN ケーブルの種類に関して】

ライブサーバーを HUB へ接続する場合はストレートの LAN ケーブルを使用して下さい。  
ライブサーバーと PC を直接接続する場合は、クロス of LAN ケーブルを使用して下さい。

【パラレル I/O】

パラレル出力：8点 映像入力 1CH タイプのライブサーバー

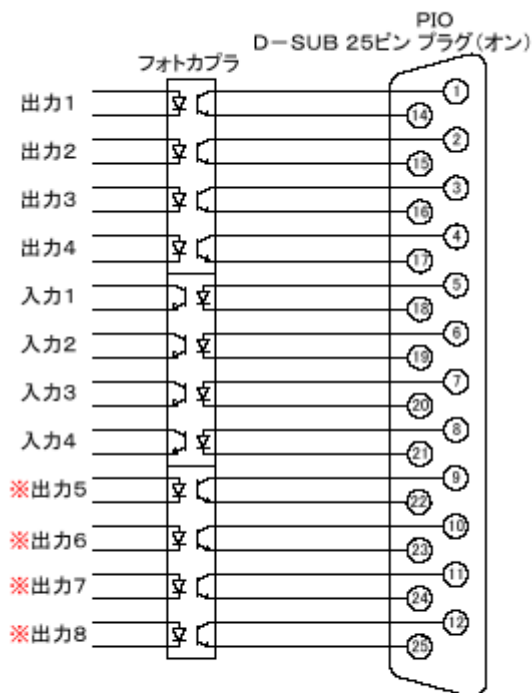
：4点 映像入力 2CH タイプのライブサーバー

( PIO コネクタの出力 5～出力 8 は接続出来ません )

パラレル入力：4点 全シリーズ共通

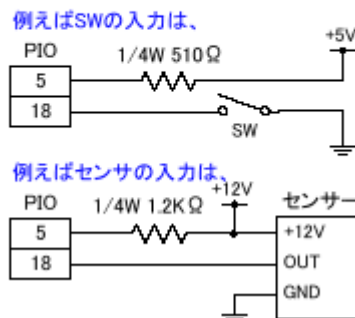
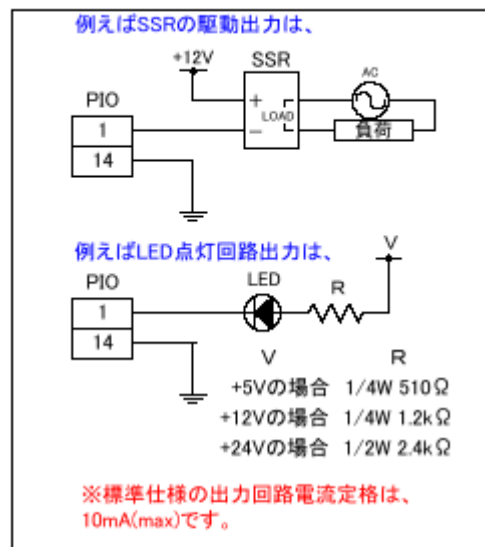


PIOコネクタのピン配置図



(注意)適合コネクタは、D-SUB25ピンソケット(メス)です。  
13ピンは、未使用です。

標準の接続回路



【PIO】

前面パネルには、RS232C 仕様のシリアル通信コネクタがあり、全シリーズで共通です。シリアルポートを使った設定ツールを接続する時に使用します。

映像が 2 入力タイプのライブサーバーでは、映像入力 2 用の COM ポートとしても使用します。



RS232C 仕様コネクタ D-SUB9 ピンプラグ(オン)

●通信仕様(RS232C CONSOLE ポートのデフォルト設定)

- ボーレート : 9600bps
- データ長 : 8bit
- ストップビット : 1bit
- パリティ : なし
- フロー制御 : なし



RS232C 仕様コネクタ



RS422/485 仕様コネクタ

D-Sub9 ピンプラグ(オン)

RS232C 仕様コネクタ表		
Pin No.	I/O	信号名
1	NC	未使用
2	IN	RxD
3	OUT	TxD
4	OUT	DTR
5	N/A	SG
6	IN	DSR
7	OUT	RTS
8	IN	CTS
9	NC	未使用

D-Sub9 ピンプラグ(メン)

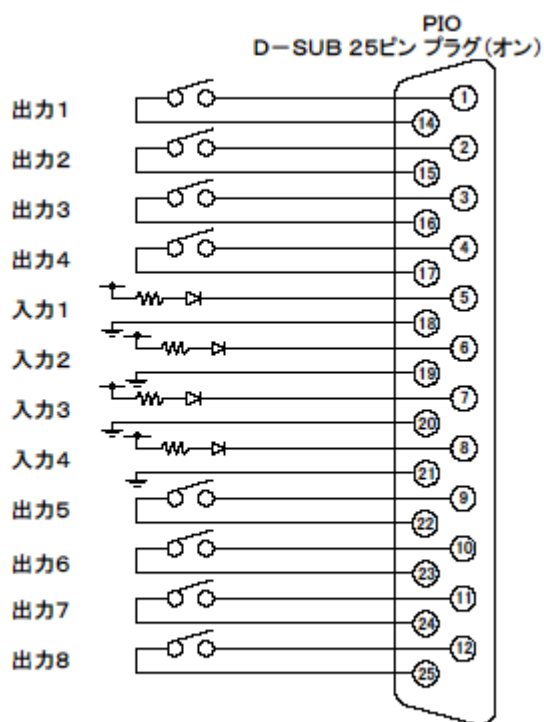
RS422/485 仕様コネクタ表		
Pin No.	I/O	信号名
1	IN	Rx+ (映像入力 1)
2	IN	Rx- (映像入力 1)
3	OU	Tx+ (映像入力 1)
4	OU	Tx- (映像入力 1)
5	N/A	SG
6	IN	Rx+ (映像入力 2)
7	IN	Rx- (映像入力 2)
8	OU	Tx+ (映像入力 2)
9	OU	Tx- (映像入力 2)

RS422/485 仕様のコネクタ表で 6 ~ 9 ピンについては、映像が 2 入力タイプの映像入力 2 用の COM ポートとしても使います



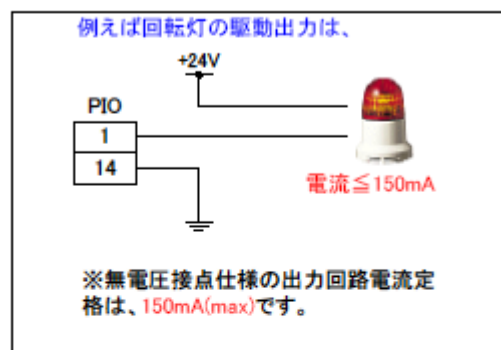
## 【オプションの無電圧接点ボード】

### PIOコネクタのピン配置図と内部回路

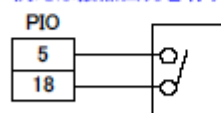


(注意)適合コネクタは、D-SUB25ピンソケット(メ)です。  
13ピンは、未使用です。

### 無電圧接点の接続回路



例えば接点出力を有する機器の入力は、



### 出力無電圧接点定格

定格負荷 : DC30V 以下

接点電流の最大値 : 0.15A 以下

#### 注意事項

上記、定格以上の負荷を駆動する場合は、外部にリレー、SSRなどを接続し、駆動して下さい。

### 入力無電圧接点定格

DC5V 20mA以上がドライブ可能なリレー接点機器を接続して下さい。

## 4 設定内容の確認

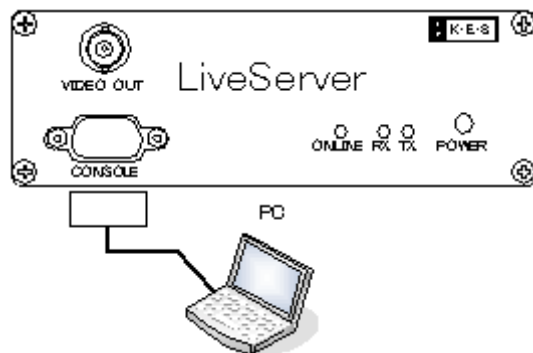
### 【確認項目】

- ・ IP アドレス
- ・ ポート番号
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ
- ・ MAC アドレス
- ・ ファームウェアのバージョン情報

### 【確認方法】

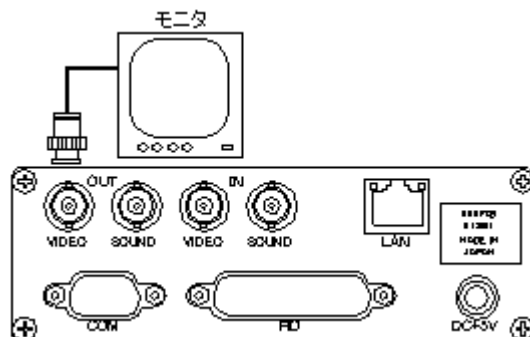
パソコンを使用する場合

下図のようにライブサーバーと PC を RS232C(クロス)ケーブルで接続します。  
設定変更モニター "MONITOR.EXE" で IP アドレス、ポート番号が確認できます。



テレビモニターを使用する場合

下図のようにライブサーバーとテレビモニターを接続します。  
ライブサーバーを再起動させると、起動後、15 秒間設定情報が表示されます。



## 5 設定

### 【設定項目】

IP アドレス、ポート番号、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ  
カメラ種類、スーパーインポーズ、映像マスク、セキュリティコード  
パスワード、DNS、NTP、メール送信、ネットワーク監視

### 【設定方法】

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ  
ネットワーク経由で設定する場合は IP 設定ツール " ChangeIP.exe " を使用します。  
詳しくは ChangeIP の操作説明書をご覧ください。  
RS232C 経由で設定する場合は設定変更モニタ " MONITOR.EXE " を使用します。  
詳しくは 設定変更モニタの操作説明書をご覧ください。

#### ポート番号

ネットワーク経由で設定する場合はポート番号変更ツール " PortCfg.exe " を  
使用します。  
詳しくは ポート番号変更ツールの操作説明書をご覧ください。  
RS232C 経由で設定する場合は設定変更モニタ " MONITOR.EXE " を使用します。  
詳しくは設定変更モニタの操作説明書をご覧ください。

#### カメラ種類

カメラ種別設定ツール " CamCfg.exe " を使用します。  
詳しくは カメラ種別設定ツールの操作説明書をご覧ください。

#### スーパーインポーズ

文字表示設定ツール " SuperEx.exe " を使用します。  
詳しくは 文字表示設定ツールの操作説明書をご覧ください。

#### 映像マスク

GUI 版はマスク設定ツール " BlankingSet.exe " を使用します。  
詳しくは マスク設定ツールの操作説明書をご覧ください。  
DOS 版は " SETSNO.EXE " を使用します。

#### パスワード、セキュリティコード

セキュリティコード\_パスワード設定ツール ” SETSN0.EXE ” を使用します。

セキュリティコード\_パスワード設定ツールの操作説明書をご覧ください。

#### DNS

DNS 設定ツール ” DNScfg.exe ” を使用します。

詳しくは DNS 設定ツールの操作説明書をご覧ください。

#### NTP

NTP 設定ツール ” NTPcfg.exe ” を使用します。

詳しくは NTP 設定ツールの操作説明書をご覧ください。

#### メール送信

メール設定ツール ” MailSet.exe ” 、 ” MailTextCfg.exe ” を使用します。

詳しくはメール設定ツールの操作説明書をご覧ください。

#### ネットワーク監視

ネットワーク監視設定ツール ” NetChk.exe ” を使用します。

詳しくはネットワーク監視設定ツールの操作説明書をご覧ください。

## 6 機能

### 【機能項目】

フリーセンサー：

可動カメラに対応したセンサーです。

設定方法は、フリーセンサー設定ツールの操作説明書をご覧ください。

動きセンサー2：

動きを検出するセンサーです。

設定方法は、動きセンサー2設定ツールの操作説明書をご覧ください。

カラーセンサー：

色を検出するセンサーです。

設定方法は、カラーセンサー設定ツールの操作説明書をご覧ください。

静止物体検出センサー：

静止しているものを検出するセンサーです。

設定方法は、静止物体検出センサー設定ツールの操作説明書をご覧ください。

音声センサー：

音の大きさを検出するセンサーです。

## 7 機種による違い

### 【機種】

ライブサーバーには RS232C 仕様と RS422/485 仕様の 2 機種があります。  
前面コネクタは RS232C 共通ですが、背面コネクタが機種によって異なります。  
機種の違いにより標準サポートのカメラ種類が異なります。

### 【機種別標準サポートカメラ】

RS232C 仕様	RS422/485 仕様
キヤノン VC-C50i	三菱 CIT-7500
キヤノン VC-C50iR	三菱 CIT-7310
	エルモ PTC-400C
	ミカミ PTC-103HU
	ミカミ PTC-107HLU
	ビクター TK-S655
	日立国際 HC-350

### 【映像入力チャンネル指定方法の違い】

クライアントソフトで映像を表示する場合、カメラ 1 入力タイプのライブサーバーと、  
2 入力タイプのライブサーバーで指定するチャンネルが異なります。

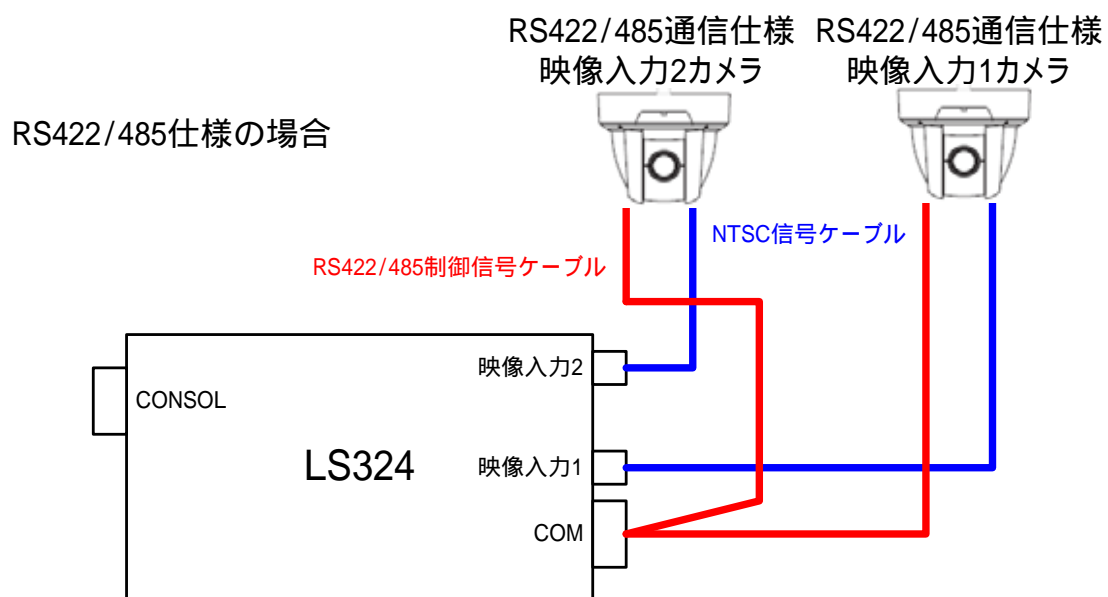
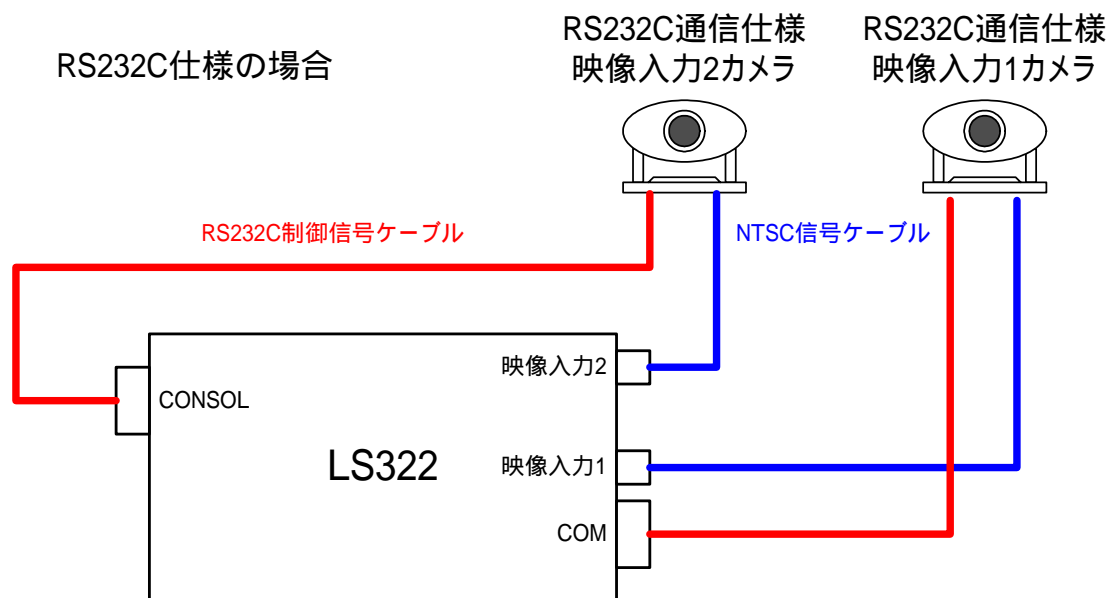
1 入力タイプの場合、

基本的には " AV-2 " を選択します。その他のチャンネルでも映像は表示されますが  
カメラを制御する場合は AV-2 を選択します。

2 入力タイプの場合

映像入力 1 の映像を見るには " AV-2 "、映像入力 2 の映像を見るには " AV-3 " を  
指定します。

【カメラの接続図】



## 8 お問い合わせ先

技術，購入問い合わせ先



(株)九州エレクトロニクスシステム

〒807 - 1263 福岡県北九州市八幡西区金剛2丁目3 - 3

URL : <http://www.kin.co.jp/>  
<http://www.liveserver.jp/>

E-MAIL :  
技術的な問い合わせ : [ls\\_hard@kin.co.jp](mailto:ls_hard@kin.co.jp)